

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

こんにちは、らくだです。

カクヨムのジャンルの再編成が、本日 12 月 1 日に実施されました。
詳細は下記公式ブログに載っているので、カクヨム利用者の皆様は要チェックです。

【ジャンルを新編成に移行しました】

自分はラブコメだった掲載作品を、現代ファンタジーに直しました。
(たぶんその方が近いと思う)

そして、もう一つ情報が。

メルマガに詳細が載っていましたが、今後公開する編集部のピックアップ特集で、「カクヨムオンリー」タグのついた作品をクローズアップするとか。

なのでカクヨム以外にネット掲載していない小説は、「カクヨムオンリー」タグをつけておくと、今後の特集で取り上げてもらえるかもしれません。

タグ枠 8 個って多すぎて余りますし、これはちょうどいいですね。
自分もカクヨム以外使ってないので、さっそく該当タグを入れてきました。

最後にカクヨム関連の話題をもう一つ。
締切済の各コンテストの応募総数が発表されました。

- ・あなたの街の物語コンテスト 1,089 作品
- ・ビーズログ文庫×カクヨム「恋愛小説コンテスト」 568 作品

どちらの賞も近いうちに経過発表があるはずなので、情報が更新されたらまたここで紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

あっという間に12月になりました。

あと1か月で今年が終わるなんて信じられません。

さてさて。

12月頭の恒例行事といえば、ガガガ文庫の1次発表です。

公募の投稿数が減少する中、ガガガは毎年1,000作以上の応募を集めており、今年も盛況だった模様です。

【発表ページ】

http://gagagabunko.jp/grandprix/entry11_1stResult.html

- ・ 応募総数 1,328 本
- ・ 1次通過 104 本
- ・ 通過率 約 7.8 %

自分自身は投稿していなくても、通過リストにお名前を知っている方が載っていると、テンションが上がりますよね。

「あの人の小説面白いし、やっぱり通るよね〜！」みたいな。

(自分は不参加なのに得意げになる奴)

とにかくこれは2次発表が楽しみです。

近いうちに更新されるはずなので、毎日欠かさずチェックしたいです。

最初的话题に戻りますが、今年も残すところ1か月。

今月もMFJなどの締切があるので、参加の皆様は頑張ってくださいませ。

こんにちは、らくだです。

記事にするのが遅れましたが、今月もパブ版を配信しました。

【らくだ図書館 (59)】

<http://p.booklog.jp/book/111628>

それから、もう一つ。

12月1日からエッセイ・ブログ大賞の投票がスタートしました。

らくだ図書館の順位をついさっき確認したら、特に宣伝してなかったにも関わらず、すでに2,000ポイント近く入っている模様。

こっそり投票した奴！

愛してるぜありがとうな！

【エッセイ・ブログ大賞ランキング】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/>

アルファポリス開催のコンテストは、デビュー狙いという感じではなくて、個人的にお祭り感覚で参加してます。

といっても適当なわけではありません。

ポイントがたくさん入ったら、当然参加者として嬉しいです。

というわけで。

アカウントをお持ちの方は、是非とも応援してください。

それと、期間中にらくだ図書館にアクセスして頂くと、閲覧ポイント（投票より比重は軽いけど）が加算されるので、毎日ブログを見てもらえるように頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

昨日紹介したエッセイ・ブログ大賞ですが、さっそく応援して下さった方がいるようで、順位とポイントが少しだけアップしました。

やったー！

投票してくれた人ありがとう！

とまあそれはさておき。

第 185 回コバルト短編賞の結果が金曜日に更新されました。

今回の結果は、入選 1 本に、最終選考 3 本。

作品本文と審査員による選評は、発表ページでチェックできます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no185/>

今回一番気になったのは、選評に書いてあるこの文。

『規定枚数をわずかでも超えたら、選考からバツサリ落とすということはありません。実際、この作品も最終選考まで残っている。でも、「規定を守っていないけど受賞」するには、相当レベルの高い作品でないと難しいです』

これって珍しいですね。

規定オーバーしたらそれだけで落とす賞も多いと思います。

その点コバルト短編賞は枚数に寛容ですが、ただ見る目が厳しくなるのは間違いないので、やはり規定枚数は守った方がよさそうです。

というわけで今回は以上、コバルト短編の話題でした。

電車内の吊り広告に書いてあった「フレフレ人生」という文字が「ブレブレ人生」に見えてしまって二度見した件。

仕方ないね……。

自分の人生がブレブレだからね……。

そんなこんなの最近ですが、今月はエッセイ・ブログ大賞にも参加中ですし、ブログの更新を頑張ります。

さて本題。

ウェブコバルトの定期連載「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回のテーマは、

『30枚の短編小説。その構成は、どうやって考えればいい？（後編）』

リンクはコチラ。

先週の金曜日に更新された模様です。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/000788/>

さっそく自分も読んできました。

前編はやや抽象的でしたが、後編はかなり具体的です。

三浦しをん先生が実際に書かれた短編小説を例に出し、着想方法などを解説しているのですが、こういう話はなかなか聞けないので面白いですよ。

このコバルトの連載は毎回楽しみにしているので、今後も定期的にチェックしていこうと思います。

こんにちは、らくだです。

今日も明るく元気にブレブレです。

さてさて。

今回の記事はウェブコバルトの投稿企画について。

まずは「泣けて泣けて元気になる小説賞」の締切が終わりました。

投稿された皆様はお疲れ様でした。

受賞作は本文掲載されると思うので、今からチェックするのが楽しみです。

そして同時に新企画の発表も。

詳細については下記リンク先をご確認ください。

【編集 F の擬人化小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/personify_award/

- ・ 応募締切 2017年2月5日(日)
- ・ 規定枚数 30～50枚(400字詰め原稿用紙換算)
- ・ 募集内容 擬人化小説(擬人化する対象はなんでもOK)

ついに擬人化きましたね！

やっぱり人気ジャンルですからね！

ってというか、イメージイラストがあまりにも強烈で、応募要項がまったく頭に入ってこないんですが……
(汗)

とにかく擬人化は色々なネタがありますし、ご興味のある皆様は、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

いったん延期になっていた、グリムノーツ×カクヨム「ゲームシナリオ用小説コンテスト」の最終結果が、ついに発表されました。

以下リンク。

受賞された方はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/grimmsnotes_scenario/result

- ・ 応募総数 249 作品
- ・ 中間選考通過 3 作品（約 1.2 %）
- ・ 受賞 1 作品（約 0.4 %）

選評を読んで感じたのですが、二次創作の賞は完全な一次創作とは勝手が違って、難しい部分も多いようです。

まずは原作の設定や世界観をしっかりと守る。
その上で自分ならではの魅力やオリジナリティを出す。

この両立がいかに難しい問題か、講評を通して伝わってきました。

そんなわけで応募総数も少なめ……かと思いきや、コメントに「当初想定していたよりも遥かに多くの投稿をいただき」と書いてあるので、主催者側としては想定より多かったみたいですね。

二次創作の賞はまだ開拓されていない分野ですし、今後も他のゲームなどで是非開催して欲しいです。

こんにちは、らくだです。

今日は目新しい情報が特にないので、普段考えている妄想(?)について。

たまにふと思うのですが、投稿を始めた頃の自分自身にアドバイスできるとしたら、皆様はなんと言いますか？

ちなみに私なら、

「自分の小説が面白いと信じ込むのはやめろ！」

いや。

もちろん自信を持つのは大事ですが。

ただ自分の場合、自信が変な意味での過信になっていて、自作の欠点にまったく気が付かない状態になっていたなと。

挙げ句の果ては欠点を指摘してくれた選評に逆ギレする始末。

そんな状態ではいくら投稿しても成長できるはずがありません。

とはいえ、自作ツマンネと思いながら執筆するのは苦痛ですし、作者自身が楽しみつつ小説を書くことも重要ではあるんですけどね。

以前あるフォロワーさんが言ってましたが、結局は下の姿勢が、執筆においては大事なのかなと思います。

【自信を持ちつつ傲慢にならない】

【謙虚でありつつ卑屈にならない】

実際は過去の自分に助言できるわけないですが、それは結局今の自分を変えることにも繋がると思うので、皆様もぜひ一度考えてみてはいかがでしょうか。

ルミナリエに行ってきました（前編） - 2016.12.09 Fri

今年も神戸ルミナリエへ行ってきました！

今や関西の冬の風物詩となったルミナリエ。
さっそく写真を紹介していきたいと思います。



元町駅から会場へ向かう途中。
お客さんは多いですが、流れは比較的スムーズ。

この日はかなり暖かかったので、快適に見て回ることができました。



大丸横のイルミネーション。
この周辺はオシャレな界隈なので、ライトアップも見応えがあります。

そうこうするうちに、メイン会場へ到着！



迫力満点のメインゲート。
使用ライト数は 30 万個以上だそうです。

とりあえず写真を撮って、アーチをくぐりましょう。



まるで海中トンネルのように幻想的。

個人的な感想ですが、今年は赤系が控えめで、青が目立つ印象でした。
神戸＝海のイメージもありますし、さわやかなイルミネーションです。



商店街を通り抜けると、東遊園地会場へ到着。

ここも豪華にライトアップされています。
まるで光で出来たお城のように見えますね。



つい上ばかり見がちですが、前日に降った雨のせいで、地面はドロドロの状態です。
この後うっかり水たまりに入ってしまう、靴底が浸水して大変な目に遭いました。

トホホ……。
足元には気を付けましょう……。



会場の一角では募金活動が行われていました。
今年で 22 回になるルミナリエですが、今後も末永く続いて欲しいですね。

募金しようかなと思ったら、横にルミナリエ宝くじがあったので、そちらを購入することに。

いやほら……。
売上は開催費用に使われるらしいから……。
(弁解)



次回も引き続きルミナリエの様子をお届けします。
誰も興味ないだろうと思いますが、宝くじの結果も次回お届けします。

果たして常木らくだは当選するのか！？（フラグ）

【次回へ続く】

皆様こんにちは。

引き続き神戸ルミナリエの様子をお届けします。

東遊園地南の噴水広場では、「光のファウンテン」を開催中。



とても期待しながら行ったのですが、昨年ここの装飾が強風で倒れたせいか、今年はライトアップが控えめな模様。

残念ですが仕方ないですね。

もちろん今年のバージョンも見応えは充分にありました。



ちなみに去年のバージョンは動画もあります。

過去ログは[コチラ](#)。

一年前の動画ですが、よろしければどうぞ。



会場周辺には屋台がたくさん出ています。

屋台といったら B 級グルメ……かと思いきや、神戸ポートピアホテルなど、有名ホテルやレストランの店もありました。



ホットワイン飲みたいけどここは我慢……。
(禁酒中)

もちろん高級屋台だけでなく、B 級グルメの屋台もあります。
こういう風景お祭りっぽくて、テンションが上がりますよね。



イベントを満喫して帰る途中、こんなイルミを発見しました。

神戸港 150 周年の記念電飾。

小さいポートタワーとカモメがカワイイ。



そうこうするうちに三ノ宮駅へ無事に到着。

帰りの電車の中では、毎年疲れて寝てしまいますが、それもいい思い出です。

来年もまた来られますように……！



そうそう！

ルミナリエ宝くじ、当選しました～！

1,000 円買って 200 円当選（涙）

いや、当たらないよりいいですけどね……。



というわけで。

神戸ルミナリエの様子をお届けしました。

次回からは通常の投稿ブログに戻ります。

最近更新が乱れがちですが、またよろしくお願いします。

『劇場版 艦これ』、観てきました！

周囲の評判はよく知らないのですが、バトルも迫力があってストーリーも良かったし、個人的にはすごく満足な内容でした。

あまり詳しく言うとネタバレですが、アニメ版で残念だったアレが解決したのが、やっぱり何よりも嬉しいというか。

(睦月ちゃん良かったね……！)

さてさて。

先週の話で恐縮ですが、OVL の 2 次発表があったので、いつも通りリンクを掲載。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2016/announcement.aspx>

- ・ 応募総数 238 作品
- ・ 1 次通過 39 作品 (約 16 %)
- ・ 2 次通過 8 作品 (約 3 %)

オーバーラップはウェブ大賞 (なろう) の方が盛況なので、従来の公募がなくならないか実はヒヤヒヤしていますが、応募数は今回増えているし今後も盛り上がりたて欲しいです。

やっぱり自分は公募の人間ですからね。

ウェブのコンテストよりも、公募を応援したいというか。

とにかくここは 2 次の後が最終なので、この 8 本からどの作品が選ばれるのか、サイトの更新を楽しみに待ちたいです。

皆様こんにちは。

そろそろ今年も終わりですね。

ふと気になって数えてみたら、自分は来年で小説投稿9年目。

なかなか上手いきませんが、それはそれで、楽しみつつ活動したいです。

そう……！

失敗は成功の母……！

ところでエジソンの名言に、こんな一文があったりします。

意味は「失敗は成功の母」と一緒ですが、より具体的でわかりやすいかなーと。

トーマス・エジソン

【失敗したのではない。上手くいかない10,000通りの方法を発見したのだ】

この発想すごく好き。

「失敗した」と思ったら成功が遠のいたように感じますが、「上手くいかない方法を発見した」と考えたら、遠のくどころか成功に近付いたように感じられますよね。

たとえ上手くいかない瞬間があっても、それを「失敗」と思うか「発見」と思うかで、その人の人生って変わるだろうなーと。

例えばこれを投稿に当てはめると、

【失敗したのではない。通過できない方法を発見したのだ】

自分が言うとは負け惜しみっぽいですが、この考え方そのものはとても好きです。

というわけで。

今回は好きな言葉の紹介でした。

皆様こんにちは！

賞味期限切れのヨーグルトを食べて下痢になった常木らくだです！

(ひどい自己紹介)

おかしいな……。

2週間ぐらい平気だと思ったのに……。

それはさておき今回の本題を。

ニコニコラジオなど広報活動が盛んなカクヨムですが、このたび、カクヨムマガジンなる電子書籍が誕生した模様です。

掲載されているのは、第1回カクヨム Web 小説コンテストで大賞を受賞した7作品で、閲覧はすべて無料。

詳細は公式ブログに載っています。

【無料の電子書籍「カクヨムマガジン vol.1」配布中】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/12/12/160412>

受賞作はネット小説なのでカクヨムでも読めますが、すべてまとめて試し読みできるのは便利ですよ。

特にカクヨムコンテストといえば、第2回の開催が間近（12月22日受付開始）なので、参加予定の皆様は前回の受賞作をチェックしてみてもいいかもしれません。

それからメルマガの情報によると、何やら新しい企画を考案中だとか。

年末～年明けの発表らしいですが、果たしてどんな企画なのか、詳細発表を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

年末は何かと忙しく、時間が足りません。

ところで年末に限った話ではないですが、ふと思えば「時間がないから」という理由で、色々な物事を後回しにしているなあーと。

そのせいで増えていく積ん読、未視聴のままのテレビ録画、買ったけどプレイしていないゲームの数々……。

こういう状況。

皆様も多少は心当たりがあるのではないのでしょうか。

でもちょっと待ってください。

ふと考えると人間って正直なもので、本当に心の底から大好きなことは、時間を作っても絶対やりますよね。

自分もそうです。

どれだけ時間がなくても、好きな作家さんの新刊は、睡眠時間を削って読みます。

つまり「時間がないから」という理由で諦めている物事は、自分にとって「どうでもいい物事」なんじゃないかなーと。

そもそも優先順位が低いから、手を付けられないわけですし。

逆に言うとその物事は「なくても困らない程度」ってことですもんね。

というわけで。

年末は何かと時間が足りないですが、自分にとって大切なのは何かをよく考えて、時間を有意義に使いたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

ウェブマガジンコバルトの投稿企画、文房具小説賞の結果が発表されました。

以下リンク。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/stationary_award_result/index.php

今回の企画は文房具メーカーのぺんてる協賛。

なので選評もぺんてるの担当者さんが執筆した模様。

ちなみに普通の選評とは違い、「ペペちゃん」「ルルちゃん」が書いた体裁なので、読むと思わずほっこりします。

コバルトさんの選評といえば、割とがつつりダメ出ししてくる印象ですが、こういう趣向もいいですね。(もちろんだめ出しも勉強になりますが)

それから今回の副賞は、ぺんてるの文房具セット。

発表ページに詳細の紹介がありますが、筆タッチペンは自分も愛用しています。

普通の筆ペンよりやや固めなので、サインペンの感覚で書けて便利です。

というわけで。

今回は文房具小説賞の話題でした。

ウェブコバルトは長編・短編以外にも、色々な投稿企画を開催しているので、これからも応援していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ファンタジアの3次発表は12月20日で確定！

富士見はメンテナンスの告知で発表日がわかるのがいいですね。

そしてもう一つ。

第30回後期（来年2月締切）より、応募規定枚数に変更されます。

・変更前 200～250枚

・変更後 200～**270**枚

(1ページ 40字×16行換算)

念のため公式サイトはコチラ。

【ファンタジア大賞】

<https://www.fantasiataisho.com/guideline/>

というわけで。

改行を考えず単純に字数で言うと、12,800字ほど上限がアップします。

これは結構大きいですね。

400字換算で30枚くらい増えるわけですし。

(ちなみに電撃換算なら約9枚)

とはいえ今回の変更は増量なので、新しい応募要項を知らずに送ってしまっても、規定違反になる心配はありません。

とにかく規定枚数は途中で変更される場合もあるので、自分が参加する賞については、公式サイト情報を小まめにチェックしたいものです。

もうすぐクリスマス！
そして全日本フィギュア開幕！

というわけで。
フジテレビによる特設ページが公開されました。

以下リンクです。
放送日程も一応載ってますが、地域によって詳細は違う模様。

【全日本フィギュア 2016】

<http://www.fujitv.co.jp/sports/skate/japan/index.html>

12月23日(金)	18:30~21:24	男子ショート
12月23日(金)	27:00~28:00	アイスダンス・ペア
12月24日(土)	18:30~23:10	女子ショート・男子フリー
12月25日(日)	19:00~21:30	女子フリー
12月26日(月)	23:55~25:25	メダリスト・オン・アイス

今年は大阪開催なんですけどね……。
男子も女子もエキシビションも、チケット落選するっていうね……。

べっ、別に悔しくないし！
なみはやドーム寒いから、落選してよかったもん！
(負け惜しみ)

ただ初日のペア・アイスダンスだけは買えました。
全日本の現地観戦は4年振りなので今からすごく楽しみです。

とにかくそういうわけなので、観戦が終わったら、また感想を書こうと思います！

『「働くヒト」小説コンテスト』開催決定！

主催はなんとカクヨムに参入したばかりの角川文庫！

というわけで。

カクヨムで新たなコンテストが開催される模様です。

詳しい情報はコチラ。

お仕事小説が増えつつある中、まさにド直球のコンテストです。

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/kadokawa_bunko_contest

- ・ 募集内容 働く人をテーマにした幅広いお仕事小説
- ・ 受付期間 2017年4月1日（土）～2017年5月31日（水）
- ・ 規定字数 10万字～16万字
- ・ 選考方法 読者選考&編集部ピックアップ作品が最終選考へ進む

今回は受付期間（＝読者選考期間）が2か月とやや長め。

あと過去のコンテストと違い、字数の上限がある点も要注意。

しかし何といても、このコンテストの注目すべき点は、主催があの「角川文庫」だという部分ではないかと。

受賞したら角川文庫でデビューですからね……。

応募数すごいことになりそうな予感がしますね……。

それはさておき、これまでカクヨムはラノベのレーベルがメインでしたが、これをキッカケに新しい書き手や読み手が集まって、サイトがさらに盛り上がっていけばいいなと思います。

表向き 「年賀状は手書きが一番！やっぱり真心が伝わるもんね！」

本音 「フォトショ使いこなせない……これ手で書いた方が早いわ……」

というわけで一足早く年賀状を投函完了。

人によっては大変な年賀状ですが、自分は幸か不幸か友達があまりいないため、一日で終わらせることができました。

別にええねん……。

人付き合いは数より中身が大事やで……。

さて本題。

第 30 回前期ファンタジア大賞の 3 次発表がありました。

通過者の皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

https://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php

- ・ 応募総数 602 本
- ・ 1 次通過 122 本（約 20 %）
- ・ 2 次通過 38 本（約 6 %）
- ・ 3 次通過 11 本（約 1.8 %）

ここからさらに 4 次選考という激戦っぶりですが、一体どの作品が受賞するのか発表が楽しみです。

ちなみに発表日は 1 月 20 日みたいです。

その頃はもう来年（信じられない……）ですが、更新されたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

2016 年も残すところ 10 日となりました。

今月末も MFJ などの締切がありますが、参加される皆様は頑張ってください。

さてさて。

先週からカクヨムのピックアップ企画がスタートしました。

「カクヨムオンリー」タグの付いている作品を、カクヨム編集部が独自の目線でピックアップして、まとめて紹介しちゃうぞーという企画です。

リンクはこちら。

第三弾は本日アップされたばかりです。

【第一弾】異世界ファンタジー、歴史・時代・伝奇、エッセイ・ノンフィクション、その他

【第二弾】恋愛、ラブコメ、ホラー、ミステリー

【第三段】SF、現代ドラマ、現代ファンタジー

なに……？

「カクヨムオンリー」タグ付けたのに、オレの作品が載ってないだと……？

というわけで、自分の小説は編集さんの目に留まらなかったようですが、今回の企画が好評ならまた第 2 回や第 3 回がありそうなので、「カクヨムオンリー」タグは引き続き付けておこうかなーと。

実装はおそらく難しいとは思いますが、閲覧者がどのタグ経由で訪問したのか確認できたら、タグ付けの参考になるんですけどねえ。

まあとにかく今回のブログは、ピックアップ企画の紹介でした。

カクヨムコンの注意事項 - 2016.12.21 Wed

こんにちは、らくだです。

第2回カクヨム Web 小説コンテストが、ついに明日、12月22日（木）0:00 から受付開始されます。

それに伴い注意事項がアップされました。

コンテストに参加予定の皆様は要チェックです。

【カクヨム公式ブログ】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2016/12/21/200022>

基本事項は発表済みの応募要項に書いてありますが、今回改めて強調されているのは以下の点でしょうか。

- ・ 同一作品を複数の部門に応募することはできない
- ・ 第1回コンテストで落選した作品を再応募するのは可
- ・ 迷惑行為が確認された場合は、運営によって厳正に対処する
(例：不正評価、評価の強要、過度なフォローや評価行為等)

特に3点目は重要ですよね……。

第1回はそのせいで後味が悪かったですもんね……。

ただその後エッセイコンテストに挑戦した時は、だいぶ改善されている印象を受けたので、今回も不正行為が蔓延しないよう願っています。

というわけで。

年末年始で何かと多忙な時期ですが、投稿される皆様は頑張ってください。

自分は前に書いた通りエントリーしないので、今回は読者として経過を見守りたいと思います。

今年も！

年内にノベル大賞へ投稿できた！

(ただしクオリティ……)

というわけで、1月10日締切のノベル大賞ですが、年末年始はたぶん忙しいと思うので、一足早く投稿作業を済ませてきました。

あ、応募要項はコチラです。

【ノベル大賞】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/outline>

ちなみに過去の成績ですが、2年前に3次まで行ってハッピーしてたら、去年は1次落ちていうね。

調子に乗ったらあかん……。

調子に乗るのは落選フラグや……。

それから受付の通し番号は、現段階で100番台の後半。

まだ100番台という見方もできますが、締切まで20日あるのにもう200本近く集まっていると考えると、なかなか凄いんじゃないかと思います。

そんなわけで気になって、去年は何番だったかな～と確認したら、偶然にもまったく一緒の受付番号でした(汗)

やだ……。

1次落ちの去年と一緒とか縁起悪い……。

それはさておき、今回から1次発表が早まる(4月予定)なので、結果が楽しみです。

はなまるうどん×刀剣乱舞コラボ- 2016.12.23 Fri

はなまるうどん×刀剣乱舞のコラボ店舗へ行ってきました！

今回訪問した店舗は、はなまるうどん、難波なんさん通り店。
日本橋のすぐ近くということで、オタ系コラボが活発な界隈です。



以前のブログで紹介した、[なか卯×艦これコラボ](#)も、ここからすぐ近くでした。

っていうか、こんな場所に「はなまるうどん」あったんですね。
(よく通るのに今まで全然気付かなかった……)



それでは早速行ってみましょう。

お昼にはまだ早い時間ですが、祝日なので、店内は割と混雑している様子。
とはいえ長居するような店ではないので、お客さんの入れ替わりは早い感じでした。



今回食べたメニュー

「栄養満点！ “へし切長谷部” のうどん」(中) 500 円

注文したらスタッフが「長谷部いただきました〜！」とか言ってワロタ。

味はシンプルで普通においしい。

ちなみに半熟タマゴは苦手なので、一緒に行った知人に押し付けました。



周囲の様子を窺うと、9割方コラボメニューを注文していて、大盛況という感じ。

アニカフェとかは敷居が高いですが、この程度の軽度な(?) コラボなら、誰でも気軽に参加できていいですね。



というわけで。

はなまるうどん×刀剣乱舞コラボの紹介でした。

対象店舗は今のところ全国 10 店。

詳細については公式サイトに載っています。

【はなまるうどん】

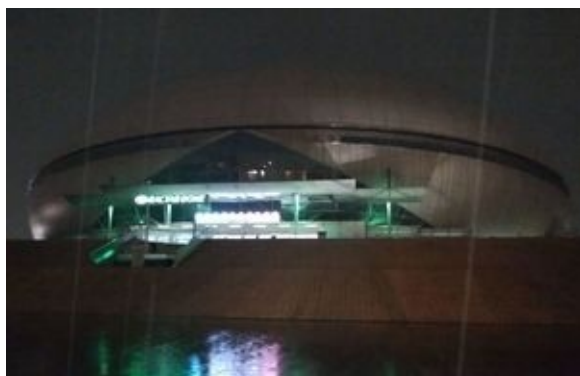
<https://www.hanamaruudon.com/news/2016.html#news12>

全日本フィギュアを観てきました- 2016.12.24 Sat

今年も！

全日本フィギュアを観てきました！

現地観戦できたのは初日だけですが、とりあえず写真を紹介していきます。



会場のなみはやドーム。

時間は 19:30 なので外は真っ暗。

注意喚起が出るレベルの豪雨で、全身がずぶ濡れの状態ですが、頑張って外観写真を撮りました。



正面ゲートへ到着。

この日（12/22）の競技種目は、ペア・アイスダンス（ショート）。

入口で荷物検査を受けて、いざ会場の中へ進みます。



会場内の様子。

ジャッジ側はさすがに混んでますが、裏側は割と余裕があって、なんとスタンド最前列に座れました。
(やったー！)

下の写真は滑走順の掲示。

アイスダンス 5 組、ジュニアペア 1 組、ペア 4 組が出場予定。

2016年12月22日～12月25日
大宮市立大宮アリーナ (東和薬品PACTARドーム)

アイスダンス

2016年12月22日(木)

時間	Warm-Up Group No. 7	
19:20-20:05:00	1. 宇井 楓 香 / 中野 大空 / 大宮スケート倶楽部FC	
20:05-20:11:30	2. 田中 悠斗 / 渡辺 梨香 / Dream FC 横浜スケーターズ	
20:11:30-20:17:00	3. 高 田 悠 / 橋本 健太郎 / 関東FSC横浜スケーターズ	
20:17:00-20:22:30	4. 村上 悠斗 / 中野 大空 / 大宮スケート倶楽部FC	
20:22:30-20:28:00	5. 小松原 楓香 / 中野 大空 / 大宮スケート倶楽部FC	
20:28:00-20:33:30		

ジュニアペア

2016年12月22日(木)

時間	Warm-Up Group No. 1	
20:50-20:56:00		
20:56:00-21:02:10	1. 立花 悠斗 / 高橋 梨香 / 大宮スケート倶楽部FC	

ペア

2016年12月22日(木)

時間	Warm-Up Group No. 1	
21:00:00-21:11:00		
21:11:00-21:30:30	1. 渡辺 梨香 / 中野 大空 / 大宮スケート倶楽部FC	
21:30:30-21:40:00		

座席を確保して会場内を散策していると、鈴木明子さんの衣装展示を発見しました。

どうやら衣装メーカーさんの宣伝(?)の模様。

見る角度によって、光り具合が微妙に変わって、とても華やかです。



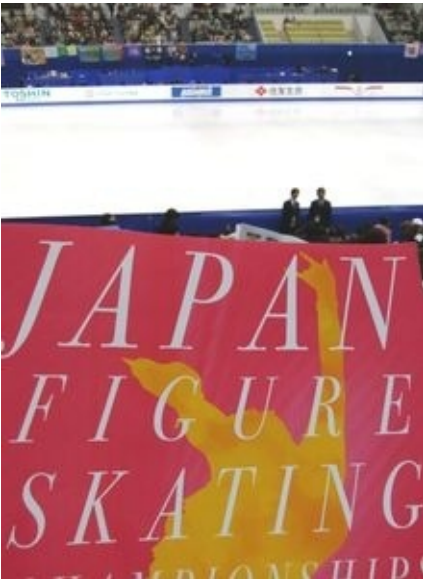
さてさて。

パンフレットを購入して着席しましょう。

客席の混み具合ですが、アリーナは綺麗に満席。

スタンドについては、階段下（階段上は未開放）が、8割ほど埋まる程度。

閑散としているわけでもなく、かといってギュウギュウなわけでもなく、ちょうどいい混雑という感じ。



競技時間は1時間半ほどでしたが、ペアもアイスダンスも、とても充実した内容で満足でした。

現地観戦で特にいいなーと思うのは、テレビの音声には入らない、ペアスピンの掛け声などが聞ける点。

臨場感が伝わってくるし、「こうやって動きを合わせてるんだ〜」というのがわかるので、観戦していて面白いです。

今回は残念ながらチケットが購入できず、初日だけ現地観戦になりましたが、残る競技は TV で応援したいと思います！

こんにちは、らくだです。

クリスマスの話題はガン無視するスタイルです。

さてさて。

ビーズログ文庫×カクヨム「恋愛小説コンテスト」の中間結果が発表されました。

今回は読者ランキングの上位作品に加え、編集部によるピックアップ作品が多かったようで、応募数の約1割が最終へ進むという結果に。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/bslog_lovestory/nominated

- ・ 応募総数 568 本
- ・ 最終候補 51 本
- ・ 通過率 約 9 %

通過リストを確認すると、なんともバラエティ豊か。

募集テーマは「女性向けのキュンとする恋愛小説」でしたが、媒体がネット小説なせいか、従来の少女小説とは違った雰囲気の商品も多い感じです。

ビーズログ文庫さんは、女性向けの中でも割と多様な作品を出版している印象ですが、これを機にさらにレーベルの幅が広がると投稿者にとっては嬉しいですね。

ちなみに最終結果は2月発表。

この中からどの作品が受賞するのか、サイトの更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

いよいよ 12 月も最終週ということで、ひっそり参加中のエッセイ・ブログ大賞も、ポイント非表示期間に突入しました。

現在らくだ図書館の順位は 14 位。

アカウントをお持ちの皆様は、応援よろしくお願い致します。

【エッセイ・ブログ大賞ランキング】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/>

そしてもう一つ。

オーバーラップ大賞（第 2 ターン）の最終結果が発表されました。

今回は佳作が 1 本だった模様。

受賞者の方はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2016/announcement.aspx>

- ・ 応募総数 238 作品
- ・ 1 次通過 39 作品（約 16 %）
- ・ 2 次通過 8 作品（約 3 %）
- ・ 受賞 1 作品（約 0.4 %）

それにしても、いよいよ本格的に年末で、忙しい毎日です。

仕事や投稿などで多忙な皆様も多いと思いますが、お正月に風邪なんて引いたら悲惨ですし、身体に気を付けて元気に年末をお過ごしください。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「年末年始」】

今週のブログテーマは年末年始ということで、2016年の活動を個人的に振り返ってみました。

< 2016年の活動 >

- ・ 1月 2016 ノベル大賞（1次落選）
- ・ 3月 第1回カクヨム Web 小説大賞（選外）
- ・ 4月 えんため大賞（2次落選）
- ・ 6月 カクヨムエッセイ・実話・実用作品コンテスト（最終落選）
- ・ 10月 集英社ライトノベル新人賞（投稿中）
- ・ 12月 2017 ノベル大賞（投稿中）
- ・ 12月 アルファポリスエッセイ・ブログ大賞（選考中）

この中で一番心に残ったのは、やっぱりエッセイコンテスト。

不正行為の蔓延に不信感を抱きつつも、「エッセイの賞なら喜んで参加するぞ！」という強い思いで、約3週間で書き上げた投稿エッセイ。

結果的には落選してしまい悔しい気持ちですが、期間中は応援や励ましの声をたくさん頂戴し、とても充実した日々を過ごすことができました。

というわけで。

今一番の願いは、「2017年もエッセイの賞があるといいな」、これに尽きます。

え、小説はどうなのかって？

うん、まあ、ほどほどに頑張ろうかと……（弱気）

それはさておき、過去を振り返ることは未来にもつながると思うので、皆様も年末を機に今年の活動を振り返ってみてはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

今回は12月のコメントについて、いくつか抜粋してお返事します。

【ブログへの日参も、何コイツ、と引かれたらどうしようかと思っていたんですが、大丈夫のようで安心しました】

むしろ逆に嬉しいです！

これからも毎日ぜひ来ててください！

(毎日更新されるとは言ってない)

【ノベル大賞投稿、お疲れ様です！今回私は都合がつかず残念ながら見送りました。その分、らくださんの発表楽しみにしています】

おつありです～！

ノベル大賞、今度こそ通るといいんですが、はてさて……。

【全日本、無事に終わりましたね～。衣装なんかも飾ってあるものなんですね】

衣装の展示は自分も今回初めて見ました。

縫製メーカーさんの宣伝として飾られていたみたいです。

【一次落ちくらいで落ち込むなよ。大丈夫、今から一緒に集英社討ち入りしようぜ！】

まだ落ちてねーし！

発表待ってる状態だし！

これ応援に見せかけた煽りだろ！

前にコメントレスを書いた際、名前が出たら恥ずかしいという意見があったので、今後は匿名で紹介していきます。

というわけで。

これからも気軽にコメントをお寄せください。

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログで公開されている特集、「コンテストで期待する作品はコレだ！」に、ファミ通文庫編集部が追加されました。

前もこのブログで紹介しましたが、過去3回分とあわせて、改めてアドレスを貼っておきます。

[【1. 富士見L文庫編集部】](#)

[【2. スニーカー文庫編集部】](#)

[【3.MF文庫J編集部】](#)

[【4. ファミ通文庫編集部】 < NEW! >](#)

ファミ通が求めるのは「どこか1点だけでも突出した魅力がある作品」とのこと。

あと驚いたのは「メインの読者層は20代後半～30代の男性」という部分です。

30代も対象なのか……。

てっきり10代～20代前半くらいかと思ってたわ……。

というわけで、予想よりも上だったので驚きましたが、それなら自分の年齢も含まれるし投稿する側にとっては朗報かなと！

やっぱり年齢って気になりますもんね。

実際は歳がどうこうじゃなく、感性さえ若ければ、問題ないとは思いますが。

とにかく各編集部の情報が詳しく載っているので、今から第2回カクヨムコンテストに参加される皆様は、是非ともチェックしてみたいと思います。

以上、「コンテストで期待する作品はコレだ！」の話題でした。

坊っちゃん文学賞のキャッチコピーが、「本音つぶやいても炎上しない」で、なんとも言えない気持ちになった件。

お、おう、せやな……。

ちなみに応募要項はコチラ。

次回の締切は来年の6月30日です。

【坊っちゃん文学賞】

<http://www.bocchan.matsuyama.ehime.jp/>

確かに投稿小説の中では、何を書いても文句を言われませんし、そういう意味で正しいキャッチコピーではあります。

とはいえ人を不快にするようなことを書いたら、結局は読んでくれた読者をイヤな気分させるわけで、そこは注意しなきゃいけないと思うんですね。

もちろんそういうの全部ひっくるめて、本音を書くことによって作品が面白くなっているなら、それに越したことはないんですけど。

そういえば前回の電撃の受賞作、『ただ、それだけでよかったんです』は、それに該当するのかなぁーと。

イジメや裏切りがメインのテーマで、作品の内容は悪意に満ちているんですが、それを正面から書き切った作品でした。

(だからこそ大賞っていう)

話がちょっと横にそれましたが、投稿小説は「本音つぶやいても炎上しない」からこそ、何を書くかは大事だと思います。

こんにちは、らくだです。

らくだ図書館はおかげ様で、大晦日の今日、開始から丸5年を迎えました。

正直もうやめようと思っていた時期もあります。

前に比べて訪問者数も減ったし、更新がしんどい日もありました。

しかし落ち込んでいる瞬間に限って、すごく熱烈な応援コメントが来たりして、「もう少し続けよう」みたいな気分に。

もう勘弁して！

皆が応援してくれるから、更新やめられないじゃん！

(謎の逆ギレ)

いや、でも実際、ありがたいですよ。

こんなに長い期間続けられたのは、皆様の支えがあったからこそです。

とにかくそんなわけで、いつまで続くかわからないブログですが、読者の皆様の応援がある限りは更新を続けたいと思います。

なので是非らくだ図書館に投票を！

締切は本日 12 月 31 日 (土) 23:59 です！

【エッセイ・ブログ大賞ランキング】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/>

以上、ひとりごとからの宣伝でした。

今年も1年ありがとうございました。

皆様ぜひ良いお年をお迎えください。